

名取市図書館友の会 2024.9.26 第22号

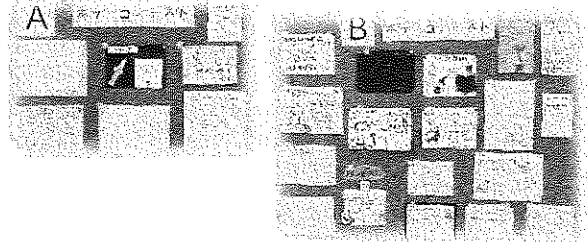
なとと通信

事務局 nt.natoto@gmail.com



「なとと」
Facebook
QRコード

昨年からはじめたポップコンテストに、今年もたくさんのご応募をいただきました。作っていただいたポップは名取市図書館内に掲示して、9月29日(日)まで投票を行っています。まだの方は、ぜひ様々なポップをご覧くださいまして、あなたの推しを選んでください。



6/16 ワークショップ よもぎでお灸づくり

～草もちだけじゃない、よもぎの健康活用法！～

社会教育士の橋本あゆこさんをお迎えして、増田公民館調理室でよもぎを使ってお灸とバーム(クリーム)を作りました。

グループ内で今日呼ばれたい愛称で自己紹介や手遊びをして、リラックスした雰囲気から作業がスタートしました。乾燥させたよもぎの葉をひたすら手でざるに擦り付けていくと葉裏の白い綿毛が残ります。これがお灸のもぐさです。円錐にしたもぐさをスライス生姜にのせ、ツボの合谷に置いて火を点けます。細い煙が立ちのぼり、お灸から伝わる熱がじんわり温かく、身体も心もほぐされ、みなさんの表情がとても穏やかに。よもぎの生の葉と無香の太白ごま油とみつろうで作ったバームは、保湿や虫刺され、肌荒れなどに効果があるそうです。

どこにでもある身近なよもぎが、このような健康活用ができることに驚き、自分の手で作ったという充足感を得た楽しいひと時になりました。

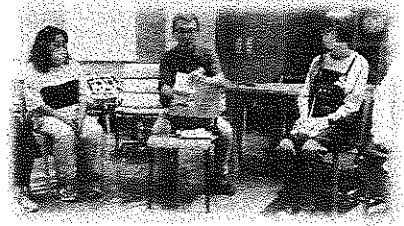
3人のお子さんのお母さんでもある橋本さんは、自然を愛し、自然を暮らしに取り入れているステキな女性でした。



★ ★ ★ 6月から8月のナイトライブラリー ★ ★ ★

6/21 「本でつながろう！ブック&ワークショップ～組み合わせてアイデアを考えよう～」

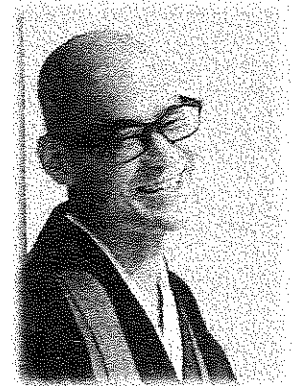
『ファシリテーション』という言葉をご存じでしょうか。～人々のあらゆる知識活動による考えやアイデアが円滑に進むよう舵を取り導くこと～とあります。6月のナイトライブラリーは尚絅学院大学教授松田道雄さんをファシリテーターにお迎えして、館内の書架から自由に本を選び、持ち寄り、二人組でジャンルの異なる本を見たり組み合わせたりして新しい発見やアイデアを考えるということに参加者20名で行いました。普段は静かな空間がこの時ばかりはお互いの本や興味や趣味の話で盛り上がり、あちこちでにぎやかな声が飛び交っていました。あっという間に終了の時間。どのグループも結論は出ない様子でしたが、本で語り合える嬉しさでどの顔も納得の閉会でした。



7/26 「坐禅ってなあに？ お坊さんに聞いてみよう」

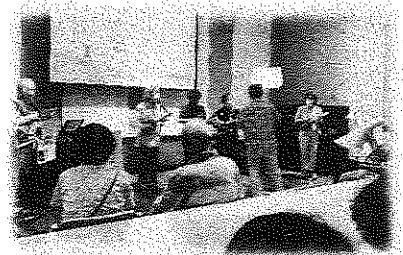
今回お迎えした曹洞宗法雲寺の井上寛尚さんは、神奈川県厚木市出身。曹洞宗本山の永平寺で3年間修行されたそうです。

まずは、椅子に腰かけたまま1分間の坐禅を体験し、この感覚を覚えておくようにと言われました。永平寺での修行は朝3時半起床。朝に2時間、夜に1時間坐禅をするそうです。当初は痛くて辛いだけだったそうですが、ある時から1時間が5分くらいに感じられるようになったそうです。全身の力を抜き、自分の呼吸を追い、心は感じたまま、見たまま、聞いたままを受け入れるという、曹洞宗開祖の道元禅師の「心身脱落(あらゆる自我意識を捨ててしまうこと)」という心得を教わり、2回目の坐禅に入ります。その結果は、ご参加の皆様の笑顔に表れていました。



8/30 「シニア世代の弾き語り～ウクレレとともに～」

脳活ウクレレに取り組まれている「かんたんウクレレサークル」リーダーの横山洋&実千代さんご夫婦をお招きしました。お二人の笑いを誘う掛け合いとともに懐かしい歌と一緒に歌いながら楽しいひと時を過ごしました。実千代さんは介護士をなさっていたそうで、簡単に弾けるウクレレや歌を通して、楽しみながら運動機能や認知機能、口腔機能を高めることを目指しているとのこと。途中、ウクレレ体験もあり、手を挙げたみなさんがコード弾きをしながら笑顔で演奏していました。「ヤシの実」「お嫁において」「海は恋してる」「好きにならずにはいられない」「精霊流し」「見上げてごらん夜の星を」「思い出の渚」など、参加された皆様も懐かしそうに歌っていました。

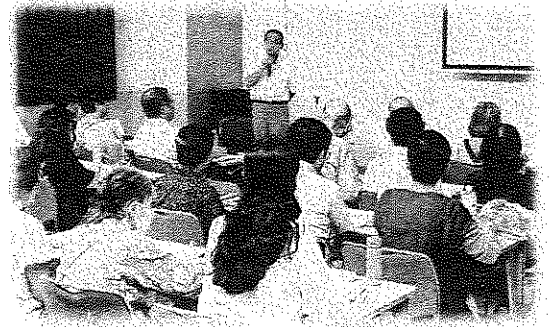


9/16 歴史講座 「名取の山の辺の道～東街道と藤原実方～」

9月16日敬老の日、増田公民館講義室において、太田昭夫氏(名取市市史編さん室調査員)をお迎えして、歴史講座が開催され、53名が参加されました。

名取氏西方の丘陵地を通る古代に始まる山の辺の道、あづま街道の表記は江戸時代、東街道、東国道、東奥街道、東海道などありましたが、みな呼び方は”あづまかいどう”。幅2～3mの道筋は、次第に東側になってきたそうです。道沿いに寺社、お堂、石碑、伝承地が多く、生活に密着した村と村をつなぐ生活道路だったのがあづま街道の特徴とのことです。

その道筋に藤原実方の墓があります。実方は三十六歌仙の一人で、小倉百人一首にも和歌が選ばれており、実方を偲び西行など多くの人々が訪ねています。995年に陸奥守に任ぜられましたが、あこやの松(山形市)を訪ねた帰りに、笠島道祖神近くで落馬し、998年に亡くなりました。実方の陸奥下向に随行した同じ三十六歌仙の一人である源重之の和歌に、「名取川 やなせの浪ぞ 騒くなる紅葉やいとど よりてせくらむ」あづま街道は名取川のやなせを越え北に・・・古道のロマンは時を超え、今も私たちを魅了します。



第12回 (8/6) 図書館の本で楽しもう!

～切り紙でうちわを作ろう!～

昨年、好評を得た「和紙の紋切り遊びで作るマイ団扇」を受け、今年は団扇作り第二弾として、“子どもから大人までどなたでも”をキャッチフレーズに「切り絵でうちわを作ろう」を8月6日に開催しました。

未就学の女の子からおじいさん、おばあさんまでの21名が参加しました。うちわの図案選び、切り方、貼り方など、“もの(うちわ)”を作る楽しい和やかな時間が過ぎました。出来上がったうちわはとても素敵のうちわとなり、参加した子どもたちのキラキラした表情が印象的でした。



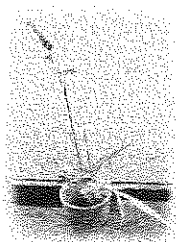
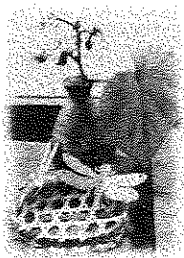
今回の参考図書



「かんたんかわいい! 季節の切り紙」

いしかわまりこ:著

電波社:出版



♡ ちょっと一服 ♡

図書館内にきれいな一輪挿しがあります。トイレで手を洗っている時目に入り、心が和みます。

館内装飾部の作品です

♪わたしからあなたへ♪

本のバトン No.17

「よい対立、悪い対立」

佐々木直哉

車を運転している時、他の車がいきなりぶつかってきそうになったら、貴方はどう思いますか?「何してんだ?あのバカ運転手!」と思ったりしませんか?

しかし相手の方は、もしかすると危篤状態の家族がいて、病院に急いでいるのかもしれない。あるいは高熱を出して苦しんでいるお子さんがいるのかも。バカ運転手と決めつけるのは早計ではないでしょうか?

アマンド・リプリーさんの『よい対立、悪い対立』はそんな視点の違い、対立を扱った本です。大抵の場合、人間は自分が見ているものを真実だと思い込みます。しかし実際にどうなのかは別。対立には良い面もありますが、扱いには注意が必要だと教えてくれる本です。



「よい対立、悪い対立」
アマンド・リプリー:著
岩田佳代子:訳
ディスカバリー・トゥエンティ:出版

これからのナイトライブラリー

- ★ 9/27 「香りが魅力! 南アジアの食文化」
 ゲスト 轡(くつわ)基治さん(うえまつ調剤薬局薬剤師)
- ★ 10/25 「秋の夜長の星空解説」
 ゲスト 名取天文台の皆さん
- ★ 11/29 詳細調整中

日時: 毎月最終金曜日 19:30~20:30 会場: カフェコーナー 定員: 40名
参加費: 会員無料 非会員 300円 申込み: 図書館へ

♡♡ ごあんない ♡♡

- ★ 10/14 鈴木まもるさん講演会
「絵本と鳥の巣の不思議 鳥の巣が教えてくれること」
13:30~16:00 増田公民館ホールにて

- ★ 11/12 第13回 図書館の本で楽しもう!
 詳細調整中

お楽しみに!



12月8日(日)は
図書館まつりです!

でんごんばん 図書館の七夕飾りに、みなさんから384枚の短冊をお寄せいただきました。ありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。
さて、読書の秋ですね。次にどんな本を読もうかな。